

新任のごあいさつ

次代につなぐ、

笑顔と元気あふれる

住みよい町づくり



田布施町長 東 浩二

このたび、10月16日に告示されました田布施町長選挙におきまして、町民の皆様や各方面からの温かいご支援をいただき、無投票という形で当選の栄に浴し、11月15日に田布施町長に就任いたしました。改めて町長としての責任の重さと、期待の大きさを痛感しており、これから4年間、皆様方の付託にしっかりと応えできるよう全力で邁進していく所存でありますので、どうぞよろしく願います。

現在、田布施町は、第5次総合計画のもと、『笑顔と元気あふれる住みよいまち』をめざし各種施策を推進しています。しかし、人口減少・少子高齢化の進展、生活環境・教育環境等の急

激な変化により、町の行政施策も大きな影響を受けることとなります。そうした中、次代を担う子どもたちに、『変わらないふるさと田布施の良さ』を残していくためにも、これまでの行政経験を活かし、『継承と改革』の信念をもって、将来に向かって確かな施策を実行していきたいと考えております。その施策の一つに、安心して子育てができる環境の整備があります。このため『子育てサポート体制』や『子育て支援事業』の充実に努めるとともに、子育ての負担軽減を図るため、子ども医療費の無償化の対象を現在の小学校3年生までから、6年生まで拡大できるように取り組みます。

また、これまで経験したことのない様な未曾有の大災害が毎年のように全国各地で発生しています。このため安全・安心なまちづくりを推進するため、防災対策、避難体制等の整備を急ぎます。特に、土砂災害特別警戒区域への対策、東南海地震などの災害対策については、国、県、関係機関、自主防災組織等と連携し取り組みます。

そして、進む人口減、超高齢化社会の到来の中で、高齢の方にいつまでも住み慣れた地域でいきいきと暮らしていただくためには、地域の皆さんの主体的な活動やボランティアグループなどの力が、より一層必要となります。このため、これまで以上に多くの方に、いろいろな形でボランティア活動に参加していただけるよう、支え合い、互助のまちづくりを推進していきます。

現在、田布施町では、国営ほ場整備事業、田布施中学校校舎大規模改修事業、豆尾踏切の拡張事業など多くの大型継続事業に取り組んでいます。その他にも各小学校へのエアコン設置などの新たな事業への早急な対応も求めら

れます。こうした事業の早期実現、完成に向け、財源確保に努めるとともに、国・県への働きかけにも努めます。

次に、本町の財政運営についてですが、平成18年からの行財政改革により、基金残高は約6億8千万円増加し、町債残額は29億2千万円減少するなど、確実に成果は上がっています。しかしながら、今後、人口減による財政面への影響や社会保障費の増加も見込まれるため、今後も、限られた財源の有効活用を徹底し、財政健全化を最重要課題として行政運営を行います。

こうした取組を着実に実施し、成果をあげていくため、私を含め町執行部と両輪を担う町議会議員各位、そして町民の皆様と一緒に『明日の田布施』を創っていききたいと考えています。

最後に、今後も、『笑顔と元気あふれる住みよいまち』の実現に向け全力で取り組んでまいりますので、皆様方のご支援、ご協力を心からお願ひ申し上げます。